

幡ヶ谷公衆トイレ



外観

「幡ヶ谷公衆トイレ」は、京王電鉄京王線幡ヶ谷駅と笹塚駅の間付近、渋谷区役所笹塚出張所前の見通しのよい交差点に立地。開けたオープンスペースに建つ白い建物が歩行者の目を惹く。



外観(空撮)

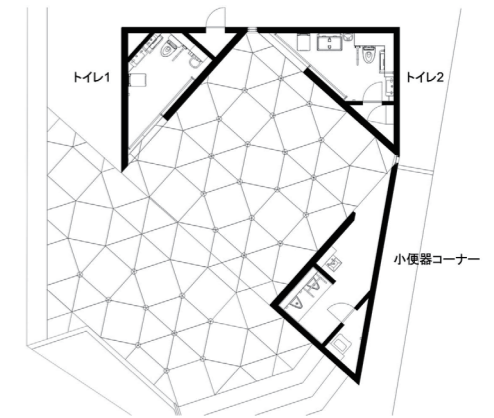
デザインのコンセプトは「...With Toilet」。公共トイレに別の機能をもつ空間を組み合わせることで、展示スペースやポップアップストアなどさまざまな用途に活用できる。



外観(夜景)

夜間には中央スペースの天井に設置された多数のトップライトが空間を照らす。見通しのよい交差点に向かって建つ真っ白い建物は、夜間に存在感が増す。

図面



水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)は、誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである「幡ヶ谷公衆トイレ」は、京王電鉄京王線幡ヶ谷駅と笹塚駅の間付近で、渋谷区役所笹塚出張所前の交差点に立地。デザインのコンセプトは「...With Toilet」。公共トイレに別の機能をもつ空間を組み合わせることで、その第二の空間は、年齢や性別にかかわらずすべての人達がさまざまな用途に活用できる。展示スペース、ポップアップストア、情報センター、待合所など、地域コミュニティの中心として役立てられることが期待されている。

水まわりの特長

中央のオープンスペースを向いて建つ三角形のトイレは、2つのトイレと小便器コーナーで構成されている。トイレ1には、車いす利用者やオストメイトに配慮したスペースの確保と器具を設置し、トイレ2には、乳幼児連連れに配慮した器具を設置。それぞれ異なる器具を設置することでトイレ利用者の分散を図っている。大便器は連続洗浄が可能なフラッシュタンク式を採用。利用者の快適性に配慮して、すべての大便器にウォシュレットアプリコットPを設置している。小便器コーナーには、マイクロ波センサー壁掛小便器セット、小便器の足元には防汚・防臭効果のあるハイドロセラフロアPUを採用。洗面器の水栓は節水タイプで、蛇口に触れず衛生的に手洗いができる自動水栓を設置している。

建築概要

名称	幡ヶ谷公衆トイレ
所在地	東京都渋谷区幡ヶ谷3-37-8
事業主体	日本財団
施主	一般社団法人渋谷区観光協会
デザイン	コンセプト マイルス・ベニンソン／東京大学DLXデザインラボ 建築 東京大学生産技術研究所 今井公太郎研究室、 本間健太郎研究室

設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2023年2月
建築面積	65.45㎡
延床面積	65.45㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BCK
- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSI
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN
- マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A
- ハイドロセラフロアPU:AB690BR／壁掛洗面器:L710CM
- 台付自動水栓:TLE26SS1A／水石けん入れ:TLK05202J
- コンパクトオストメイトバック:UAS81RSB2NW／フィッティングボード:YKA41



トイレ1

車いすのアプローチ動線を確保したトイレ1には、車いす利用者配慮に加え、オストメイト配慮として、装具交換のしやすさなどを踏まえ必要な器具をパッケージしたコンパクトオストメイトバックを設置。



小便器コーナー

トイレ全体での回転率を損なわないよう小便器コーナーを設置。手前の洗面コーナーには、壁掛洗面器に非接触で手洗いができる自動水栓を設置している。



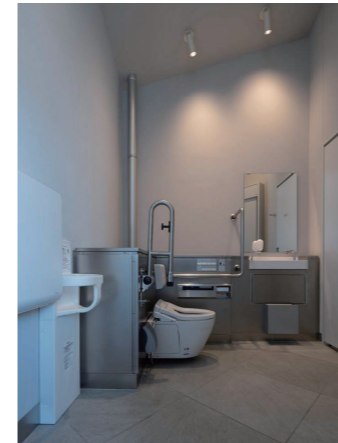
トイレ2

トイレ2には、乳幼児連連れに配慮して、ベビーチェア、ベビーシート、フィッティングボードを設置している。



小便器コーナー

小便器はマイクロ波センサー壁掛小便器セット、足元には、汚れやにおいの発生を防ぐ効果のあるハイドロセラフロアPUを設置している。



トイレ2

大便器は、壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。また利用者の快適性に配慮し、ウォシュレットアプリコットPを採用。リモコンは、ボタンを押すたびに発電する省エネタイプのエコリモコンを設置している。



案内板・ピクトグラム

案内板でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザ トウキョウ トイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。